|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 発生する処分後の産業廃棄物の種類の全てについて、処理方法ごとに当該様式を作成して下さい。  ここでは、がれき類の破砕施設の記載例を示しています。  処分後の産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物等の処理方法を記載した書類（記載例） | | |
| 処分後の産業廃棄物等の  種類  中間処理後の産業廃棄物の種類及びその発生量を記載してください。  《例》  ・ 紙くずを焼却処理した場合　→　燃え殻（紙くずの焼却処理後物）  ・ 汚泥を天日乾燥処理した場合　→　汚泥（汚泥の天日乾燥処理後物）  ・ がれき類を破砕処理して路盤材として再生利用する場合  　　→　路盤材（がれき類の破砕処理後物） | | **燃え殻（木くず、紙くず、繊維くずの焼却後物）** |
| 発 生 量（t/月又は㎥/月） | | **0.1t/月** |
| 処理方法 | 自己処理 | 中間処理後物を自ら処理する場合に記入して下さい。  （処分場所） |
| 委託処理 | （処分業者名）**○×環境**  中間処理後物を委託処理する場合に記入して下さい。 |
| （所　在　地）**○○市××１１番地１** |
| 埋立処分　　　海洋投入処分　　　中間処理　　　売　却  該当するものいずれかに丸をつけて下さい。  中間処理、売却の場合は、その具体的な方法  **非該当**  中間処理又は売却の場合は、その具体的な方法を示してください。  《例》  がれき類を破砕処理後、売却する場合  → 路盤材として株式会社○×建設に売却　等 | |
| 備考　処分後の産業廃棄物の種類ごとに記載すること。 | | |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（日本工業規格　Ａ列４番）